

宮城県大崎市でのソーラーシェアリング事業に対する融資実行について

株式会社七十七銀行（頭取 小林 英文）は、株式会社Best means（代表取締役 福地 俊宏）が宮城県大崎市で実施する、太陽光発電と農業を同時に行う大規模営農型発電事業（ソーラーシェアリング）に対して融資を実行いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、宮城県内のソーラーシェアリング事業に対する融資は当行初となります。

当行は、今後も総合金融サービスの提供を通じて、再生可能エネルギーの普及・促進と地域経済の活性化を支援し、SDGsの達成に貢献してまいります。

記

1. 案件概要

本事業は、宮城県大崎市内に点在する耕作放棄地56カ所で行うソーラーシェアリング事業です。株式会社Best means（発電事業）とNGA株式会社（営農事業）が主体となり、再生可能エネルギー固定価格買取制度（FIT）を活用した太陽光発電による全量売電と、「榊」や「牧草」の生産・販売および営農に携わる雇用の創出を見込んでいます。

なお、本事業は近年増加している「耕作放棄地」を活用する事業であり、地域課題の解決につながっています。

<事業概要>

発電事業主体	株式会社Best means 代表取締役 福地 俊宏 （宮城県仙台市若林区）
生産事業主体	NGA株式会社 代表取締役 福地 俊宏 （宮城県大崎市古川）
所在地	宮城県大崎市古川 他（計56カ所）
土地面積	132,999㎡（56カ所合計）
発電設備規模	2,772KW
年間想定発電量	5,027MWh／年 【一般家庭約1,100世帯分相当】
生産物	榊、牧草
運転開始時期	2022年1月頃から順次

<融資契約>

貸付人	株式会社七十七銀行
融資金額	非開示

- 1 -



七十七グループは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

もっと、ずっと、地域と共に。

2. 完成イメージ（実際は、下部写真の50倍相当の設備規模）



（関連するSDGs）



「SDGs実践計画」を2021年10月に公表しました！

当行では、SDGsに対する取組みを更に強化するため「七十七グループのSDGs宣言」に基づき、新たに「SDGs実践計画」を策定しました。

実践計画の詳細はこちらへ <https://www.77bank.co.jp/sustainability/sdgs2021.html>

以 上